



## アクセスポイントの設置

---

AP の設置には、次の高レベルなタスクが関係します。

- [パッケージの開梱](#) (1 ページ)
- [設置前の確認と設置のガイドライン](#), on page 5
- [アクセスポイントの取り付け](#), on page 7
- [アクセスポイントへの電源供給](#), on page 8

## パッケージの開梱

### パッケージの内容

各 AP パッケージには次の品目が含まれています。

- CW9166I AP X 1
- デフォルトの取り付けブラケット：調整可能な天井レールクリップ AIR-AP-T-RAIL-R および AIR-AP-BRACKET-1=
- 注文可能なオプションの取り付けブラケット：AIR-AP-T-RAIL-F および AIR-AP-BRACKET-2=
- シスコ製品のマニュアルおよびポインタ カード



---

(注) Cisco CW9166I-MR AP を注文した場合、取り付けブラケット AIR-AP-BRACKET-2= がデフォルトで付属しています。

---

## アクセスポイントの開梱

### Procedure

- ステップ1** 梱包を解いて、アクセスポイントと選択した取り付けアクセサリキットを梱包箱から取り出します。
- ステップ2** 梱包材を出荷用の箱に戻し、後で使用する場合に備えて保管しておきます。
- ステップ3** 注文品がすべて揃っていることを確認します。欠品または損傷品が見つかった場合は、製品の購入代理店まで問い合わせてください。

## 注文可能なシスコ製アクセサリ

次のアクセサリをシスコから別途注文できます。

- AP を取り付けるための AP 取り付けブラケット

取り付けブラケット	説明
AIR-AP-BRACKET-1=	ロープロファイルの非ピボット取り付け用
AIR-AP-BRACKET-2=	電気またはネットワークボックス用、天井マウントの上
AIR-AP-T-RAIL-F=	同一面型天井グリッドクリップ
AIR-AP-T-RAIL-R=	埋め込み型天井グリッドクリップ
AIR-CHNL-ADAPTER=	T レールチャンネルアダプタ

- パワーインジェクタ（Power over Ethernet（PoE）が使用できない場合）

電源モジュール	説明
AIR-PWRINJ7=	ミッドスパンパワーインジェクタ AIR-PWRINJ7=（PoEが使用できない場合） 電源仕様：50W、56VDC 詳細については、 <a href="#">パワーインジェクタのデータシート</a> を参照してください。
AIR-PWRINJ6=	802.3at パワーインジェクタ（PoEが使用できない場合） 電源仕様：30W、55VDC 詳細については、 <a href="#">パワーインジェクタのデータシート</a> を参照してください。

電源モジュール	説明
MA-INJ-6-x	Meraki 802.3bt PoE インジェクタ 電源仕様：60W、55VDC 詳細については、 <a href="#">パワーインジェクタのデータシート</a> を参照してください。
MA-PWR-50WAC	DC 電源アダプタ 電源仕様：50W、54VDC

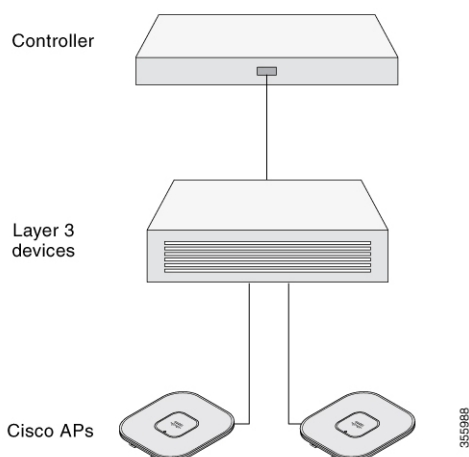
## 設置前の設定（任意）

次の手順は、AP の設置と初期操作が正常に行われるようにするためのプロセスを説明するものです。



**Note** 設置前の設定は、オプションの手順です。ネットワークコントローラが適切に設定されている場合は、AP を最終位置に取り付けて、そこからネットワークに接続することができます。詳細については、[ワイヤレス ネットワークへのアクセスポイントの配置](#)を参照してください。

次の図に、設置前の設定を示します。



次の操作を行ってください。

### Before you begin

シスコのコントローラ分散システム（DS）がネットワークに接続されていることを確認します。該当するリリースの『[Cisco Catalyst 9800 Series Wireless Controller Software Configuration Guide](#)』に記載されている CLI または GUI の手順を使用します。

- AP、シスココントローラ管理、およびAPマネージャインターフェイス間のレイヤ3接続を有効にします。
- APが接続するスイッチを設定します。詳細については、ご使用のリリースの『[Cisco Wireless Controller Configuration Guide](#)』を参照してください。
- ネットワーク上でDHCPが有効であることを確認します。APは、DHCPを介してIPアドレスを取得する必要があります。



**Note** 802.11ax APは、デフォルトルータ（ゲートウェイ）がDHCPサーバー上に設定されており（APが自身のゲートウェイIPアドレスを受け取れるようにする）、ゲートウェイARPが解決される場合のみ、DHCPサーバーからIPアドレスが割り当てられます。

- CAPWAP UDPポートがネットワーク内でブロックされないようにします。
- APは、コントローラのIPアドレスを検出する必要があります。これには、DHCP、DNS、またはIPサブネットブロードキャストを使用します。このガイドでは、コントローラのIPアドレスを提供するDHCP方式について説明します。その他の方式については、製品マニュアルを参照してください。詳細については、[DHCPオプション43の設定](#)も参照してください。



- Note**
- APには、イーサネットポートがトラフィックのボトルネックにならないように、マルチギガビットイーサネット（5 Gbps）リンクが必要です。
  - Cisco CW9166I-MR APはCatalyst 9800コントローラに参加しません。APをコントローラに参加させるには、Merakiサポートチームに連絡してAPを移行してください。

## Procedure

**ステップ1** サポートされている電源を使用してAPに電力を供給します。

[アクセスポイントへの電源供給](#), on page 8を参照してください。

- APがコントローラに接続しようとする時、LEDが緑色、赤色、消灯の順に切り替わります。この動作は、最大で5分間続きます。

**Note** APが5分を超えてもこのモードのままの場合、APがプライマリCatalyst 9800コントローラを検出できないことを意味します。APとCatalyst 9800コントローラの接続をチェックし、いずれも同じサブネット上にあることを確認してください。

- AP がシャットダウンした場合は、電源をチェックします。
- AP は、Catalyst 9800 コントローラを検出した後、AP コードバージョンが Catalyst 9800 コントローラのコードバージョンと異なる場合、新しいオペレーティングシステム コードのダウンロードを試みます。この動作中は、ステータス LED が青色に点滅します。

オペレーティングシステムのダウンロードに成功すると、AP がリブートします。

- ステップ 2** (オプション) AP を設定します。コントローラの CLI、GUI、または Cisco Catalyst Center を使用して、アクセスポイント固有の 802.11ax ネットワーク設定をカスタマイズします。
- ステップ 3** 設置前の設定に成功すると、ステータス LED が緑色になり、通常の動作を示します。AP を接続解除して、ワイヤレスネットワーク上の配置予定場所に取り付けます。
- ステップ 4** AP が通常の動作を示さない場合、電源を切り、設置前の設定を繰り返します。

**Note** レイヤ 3 アクセスポイントを Catalyst 9800 コントローラとは別のサブネットに設置する場合、次のセットアップが構成されていることを確認してください。

- AP をインストールするサブネットから DHCP サーバーに到達できること。
- コントローラに戻るルートがサブネットにあること。
- このルートで、CAPWAP 通信用の宛先 UDP ポート 5246 および 5247 が開かれていること。
- 第 1、第 2、および第 3 のコントローラに戻るルートで、IP パケットのフラグメントが許可されていること。
- アドレス移動を使用する場合、アクセスポイントおよびコントローラに、外部アドレスへの静的な 1 対 1 の NAT があること。ポートアドレス変換はサポートされていません。

## 設置前の確認と設置のガイドライン

アクセスポイントを取り付けて導入する前に、サイトの調査を行って（またはサイト計画ツールを使用して）アクセスポイントを設置する最適な場所を判断することを推奨します。

ご使用のワイヤレス ネットワークについて次の情報を知っておく必要があります。

- アクセスポイントの場所
- アクセスポイント取り付けオプション：
  - 吊り天井の下面
  - 水平な平面の上
  - デスクの上



**Note** 吊り天井の上面にアクセスポイントを取り付けることもできますが、取り付け用部品を追加購入する必要があります。詳細については、[アクセスポイントの取り付け](#), [on page 7](#)を参照してください。

- アクセスポイントの電源オプション：次のオプションのいずれかを使用して AP に給電できます。
  - シスコ認定パワーインジェクタ
  - サポートされているスイッチを備えた PoE



- Note**
- Underwriter Laboratories (UL) 承認と掲載されている電源アダプタは、次の最小仕様を満たす必要があります。定格出力 42.5 ~ 57 Vdc、最小 1.11A、最低 50°C の TMA、高度は 3048m 以上。
  - 802.3af を使用すると、すべての無線がオフになります。イーサネットは 1 GbE にダウングレードされます。USB ポートもオフになります。

- 動作温度：
  - CW9166I : 0 ~ 50 °C (32 ~ 122 °F)



**Note** 周囲温度が 40 ~ 50°C (104 ~ 122°F) を超える環境に AP を設置すると、5 GHz 無線でアクセスポイントの構成が 4x4 から変更され、アップリンクイーサネットは 1 GbE にダウングレードされません。ただし、USB ポートは有効なままです。

- コンソールポートを使用したコンソールへのアクセス  
長さ 1 メートル以下のコンソールケーブルを使用することをお勧めします。



**Note** 終端されていないコンソールケーブル（デバイスまたは端末に接続されていない）、または長さが 1 メートルを超えるコンソールケーブルを使用すると、起動中に AP で問題が発生する可能性があります。

アクセスポイントの場所を示すサイトマップを作成し、各場所のデバイスのMACアドレスを記録して、その記録をワイヤレスネットワークを計画または管理している担当者に渡すことができるようにすることを推奨します。

## アクセスポイントの取り付け

Cisco Catalyst Wireless 9166I Wi-Fi 6E アクセスポイント は次の場所に取り付けることができます。

- 吊り天井
- 硬い天井
- 壁面
- 電気ボックスまたはネットワークボックス
- 吊り天井上面
- デスク上

AP の取り付けに関する詳細な手順については、次のサイトでアクセスポイントの取り付け手順に関するドキュメントを参照してください。

[http://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/wireless/access\\_point/mounting/guide/apmount.html](http://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/wireless/access_point/mounting/guide/apmount.html)

次の表に、AP でサポートされている標準取り付け部品を示します。

**Table 1: AP を取り付けるためのブラケットとクリップ**

取り付けタイプ	部品番号	説明
ブラケット <sup>123</sup>	AIR-AP-BRACKET-1	ロープロファイルブラケット：天井取り付けに使用（これはデフォルトのオプションです）
	AIR-AP-BRACKET-2	ユニバーサルブラケット：壁面または電気ボックスへの設置に使用
クリップ	AIR-AP-T-RAIL-R	天井グリッドクリップ（埋め込み型）（これはデフォルトのオプションです）
	AIR-AP-T-RAIL-F	天井グリッドクリップ（同一面型）
	AIR-CHNL-ADAPTER	チャンネルレール天井グリッドプロファイル用追加アダプタ
デスク上	—	デスク設置用のゴム製の脚（8-32 X 0.28 インチのネジを使用）

<sup>1</sup> ネジ穴を4つ以上使用して AP を取り付けてください。

- <sup>2</sup> AIR-AP-BRACKET-3 は、Cisco CW9166I アクセスポイントとの互換性がありません。
- <sup>3</sup> サードパーティ製の「タイル内」取り付けオプションを使用することもできます。詳細については、アクセスポイントのデータシートを参照してください。

取り付けブラケットからはずれる可能性がある場所に AP を取り付けるときは、AP の背面のロックの掛け金を使用して、ブラケットにロックします。

## アクセスポイントへの電源供給



**Caution** Underwriters' Laboratories (UL) 準拠の PoE 電源を使用して AP に給電されていることを確認してください。ユニットは、外部プラントにルーティングせずに PoE ネットワークにのみ接続する必要があります。

AP は次のものを使用して、PoE によってのみ電源供給できます。

- 802.3bt : 802.3bt 準拠のスイッチポートまたはサポートされている Cisco Power Injector
- Cisco Universal PoE (Cisco UPoE)
- 802.3at (PoE+) : 802.3at 準拠 (30.0 W) のスイッチポート
- 802.3af : 802.3af 準拠 (15.4 W) のスイッチポート



**Note** 802.3af が使用されている場合、すべての無線がオフになり、イーサネットポートが 1 GbE にダウングレードされ、USB ポートがシャットオフされます。

- DC 電源ジャック



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。